

献 辞

このたび渡辺先生にはめでたく古稀をお迎えになり、それを記念して論文集を発行することとなりました。

先生は1955年（昭和30年）に同志社大学経済学部助手にご就任されて以来、これまで46年の長きにわたって、同志社大学経済学部の発展のためにご尽力をいただきました。これまで経済学部は、理論研究の面で学会から高い評価を得て参りましたが、これもひとえに理論グループの中心として学部を引っ張ってこられた、先生のお力があればこそと思われます。

また先生は、経済学部長をはじめ学部の様々な役職にお就きになり、まさに経済学部の柱石として、教育や研究を支えてこられました。さらに先生は、大学院の教育においても指導的な役割を果たされ、多くの大学院生が研究者として先生のもとから巣立っていき、現在学会で広く活躍されておられます。

私が初めて先生にお会いしたのは、大学院で先生の演習に参加することを許されたときでした。その頃は、先生がイギリス留学から帰られてすぐのときで、ケンブリッジでスラッファ等の経済学者に会われたときのお話などをお聞きして、大きな刺激を受けました。演習ではスラッファの『商品による商品の生産』をテキストとして取り上げられ、その内容を先生が明快にご説明になったことが、今でも鮮明に思い出されます。

先生はこの3月で定年をお迎えになります。同志社大学ではこれまでの先生のご功績に感謝して、名誉教授の称号をお贈りすることになりました。先生のみまますのご健康とご活躍をお祈りいたします。

2001年2月

経済学部長 横山照樹